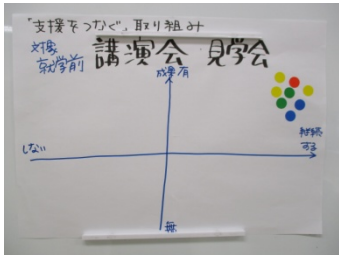


第7回そだつ部会会議録

日 時	2016年2月2日(火) 13:30~15:30
場 所	播磨町地域連携交流施設
テ ー マ	1、参加メンバー 2、協議課題 3、その他 4、次回開催日の調整
内 容	<p>1、参加メンバー：9名</p> <p>2、協議課題</p> <p>○「支援をつなぐ」講演会『就労に向けてのウォーミングアップ 今、知っておくとい いいこと』</p> <p>参加者：34名 (町内5名 町外10名 事業所7名 その他2名 部会メンバーなど10名)</p>  <p>よかったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東はりま特別支援学校と教育委員会の連携があったこと →最初の挨拶に、東はりま特別支援学校長が来ていただいた ・早期に会が持ててよかった ・見学する機会をつくってくださってよかった ・就学の直前でなく早い段階で保護者が見学できた →冷静な判断材料になったのではないかな ・両先生のお話の時間がたっぷりあっても良かった ・実際に学校を見学できた ・給食時間の見学 生活の様子 ・事業所の参加があってよかった <p>反省・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料が足らなかった ・広報の方法を再考 →先生から直接の声かけがあって、後押しになったらいいと思う ・播磨町以外の参加者も多くいたので、播磨町の現状の説明が参加者の期待に添えたものか疑問に思う ・題名を「就学前のウォーミングアップ 今知っておくといいいこと」としたが、現状の説明に時間を割き過ぎて、就学前に取り組む事の説明が少なかったかもしれない ・播磨町内の参加者を増やすようにしたい ・見学時間はもう少し短くても良いのではないかな →長い見学時間は、先生の負担になるのではないかな →何度も同じところをぐるぐる回る必要はなかったのではないかな

・時間配分

→コースや対象を絞る等、何回かに分けて開催してもいいのではないか

○かけはしカフェについて

平成 28 年 1 月 17 日報告 参加者 4 名

- ・文章化するために支援者が聞いてあげる事が、「かけはし」を書くきっかけになることがわかった

平成 28 年 2 月 10 日 (水) 10 : 00 ~

- ・参加者 11 名予定 (成人 3 名 それ以外就学児の保護者)
- ・播磨町以外の方には、お持ちのサポートノート持参でも OK と伝える
- ・当日担当 成人：播磨町社会福祉協議会
播磨町の保護者：手をつなぐ育成会・はまなす、NPO 法人 sower、
播磨町教育委員会
加古川・明石の保護者：東はりま特別支援学校、播磨町福祉グループ
- ・以前の「かけはし」を記入する時の声かけを確認すること

○今年度の振り返りと来年度の課題について

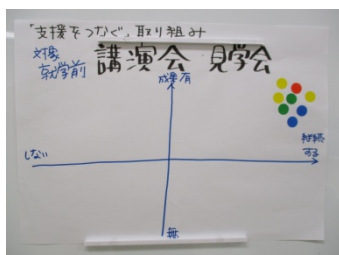


※第 3 回そだつ部会の議事録を参考とする

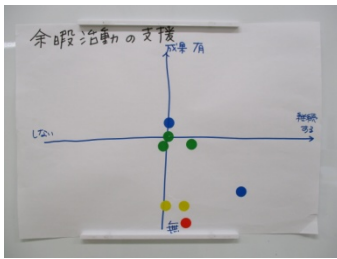


反省・改善点

- ・支援者側活用のポイント、聞く時のポイント
- ・目的
- ・体制



※前半の議事録を参考とする



反省・改善点

- ・高校生ターゲット 地域生活の練習
 - ・子供同士の触れ合うチャンスを奪う
 - ・場づくり（つながりをもつ）
 - ・余暇の主体は誰
 - ・学童保育の活用
 - ・インクルージョンの立場から考える。みんなの意識を変えていく必要がある
 - ・サポートチームはりまで提案できる事があるかもしれない
- ⇒来年度も引き続き、継続して話し合っていく

3、その他

○はたらく部会

お茶会会議：2月6日（日）10：00～

第2回はたらくみんなのお茶会：3月6日（日）10：00～

○第2回推進会議・全体会：平成28年2月26日（金）10：30～12：15

内容：障がいのある人も歳を重ねる～障がい者の高齢化とその対応について～

場所：播磨町役場3階 ABC会議室

講師：関西福祉大学 谷口泰司先生

4、次回開催日の調整

3月29日（火）13：30～

場所：地域連携交流施設